

2016年1月4日

報道関係各位

中部学院大学

税理士試験 現役大学生全国6名のうち本学から2名合格

中部学院大学（学長 古田 善伯）経営学部（今井 春昭 学部長）**経営学科**4年の小木曾太一さんと石田朱音さんの**2人が税理士試験に合格**しました。**本年度の税理士試験における現役大学生の合格者は6人（全体の0.72%）で、そのうち、本学から2人が合格**を果たしました。また、同学科の卒業生1名も合格しました。

本学では、**経営学部**に「**職業会計人コース**」を、生涯学習の場である「**シティカレッジ各務原**」に「**会計プロフェッショナルコース**」を開き、税理士、公認会計士の合格を目指してきました。また、シティカレッジ各務原では、**16歳の史上最年少で公認会計士試験に合格（当時）**するなど、これまでも多くの実績を残してきました。今回の成果は、同じキャンパス内で**大学の講義と生涯学習の場での学びにより、お互いに補完し合い、良い結果に結びついた**といえます。

なお、1月5日（金）午前10時に各務原市記者クラブに2人の学生と、大学の片桐多恵子副学長が訪問します。

※2人が税理士を目指したきっかけなどは別途資料を参考

【小木曾 太一（こぎそ・たいち）】

1993（平成5）年5月18日生（22）

- ・ 恵那南高校出身
- ・ 大学2年（第63回税理士本試験）簿記論、財務諸表論、消費税に合格
- ・ 大学3年（第64回税理士本試験）法人税に合格
- ・ 大学4年（第65回税理士本試験）所得税法に合格

【石田 朱音（いしだ・あかね）】

1994（平成6）年1月19日生（21）

- ・ 愛知・清林館高校出身
- ・ 大学2年（第63回税理士本試験）簿記論、財務諸表論に合格
- ・ 大学3年（第64回税理士本試験）相続税に合格
- ・ 大学4年（第65回税理士本試験）法人税、消費税法に合格

【小木曾太一】

次の目標が**明確**にわかる

ー職業会計人コースを選んだ理由は。

税理士の仕事を初めて知ったのは、小学5年生の時でした。小学校に税理士の方が来て、仕事の内容について話をしてくれました。税理士を目指そうと思ったのは、高校進学を考えた時。多くの企業や人のためになれる仕事であると再認識したからです。高校では総合学科で学びました。卒業後は専門学校の道も考えましたが、森均教授に指導を受けた先生に紹介され、中部学院大学で学んでみたいと思い、進学を決意しました。

ーコースの良いところは。

税理士以外にも人間性を磨けるところです。また、入学して驚いたのは、高校からシティカレッジ各務原の会計プロフェッショナルコースで学んでいた同学年の仲間が、公認会計士試験の短答式に合格していて、とても刺激も受けました。職業会計人コースは生涯学習の会計プロフェッショナルコースとダブルで受講できるため、先に進んでいる仲間がいて、次の目標がはっきりしてわかるのも良いところだと思います。

【石田朱音】

切磋琢磨できる**学習環境**

ー職業会計人コースを選んだ理由は。

高校では情報処理科で簿記を勉強しました。進路を考えた時に、これまでの勉強を生かしたいと思いました。いろいろな大学の説明会を聞きましたが、多くの大学は日商簿記2級までの取得でした。そこで、高校3年の時に朝礼を見学した時に、税理士や公認会計士を目指している方々ばかりで、先の勉強ができる環境が整っているのを感じて、進学を決めました。

ーコースの良いところは。

努力している仲間が目の前にいて、しっかり成果を出しているのので、自分ももっと勉強すれば結果を残せるのではないかと思います。切磋琢磨できる雰囲気があり、動機づけにもなっています。またダブルスクールで受講しているシティカレッジの会計プロフェッショナルコースは、小学生が簿記3級に合格したのを目の当たりにして、刺激を受けています。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 経営学部 経営学科 担当：今井（経営学部長）

TEL:058-375-3600（各務原キャンパス）